

# HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

2026年1月27日  
株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント

## HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE ANNUAL REPORT 2025

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントは、2023年開業したES CON FIELD HOKKAIDO（以下、エスコンフィールド）および、エスコンフィールドを核としたエリア HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE（以下、Fビレッジ）が、3年目を終えたことを受け、「ANNUAL REPORT 2025」をご報告いたします。



## ANNUAL REPORT 2025



### 1. 2025年の振り返り

Fビレッジ開業3年目となる2025年の年間来場者数は459万1,357人（前年比+10%）となりました。内訳は以下のとおりです。

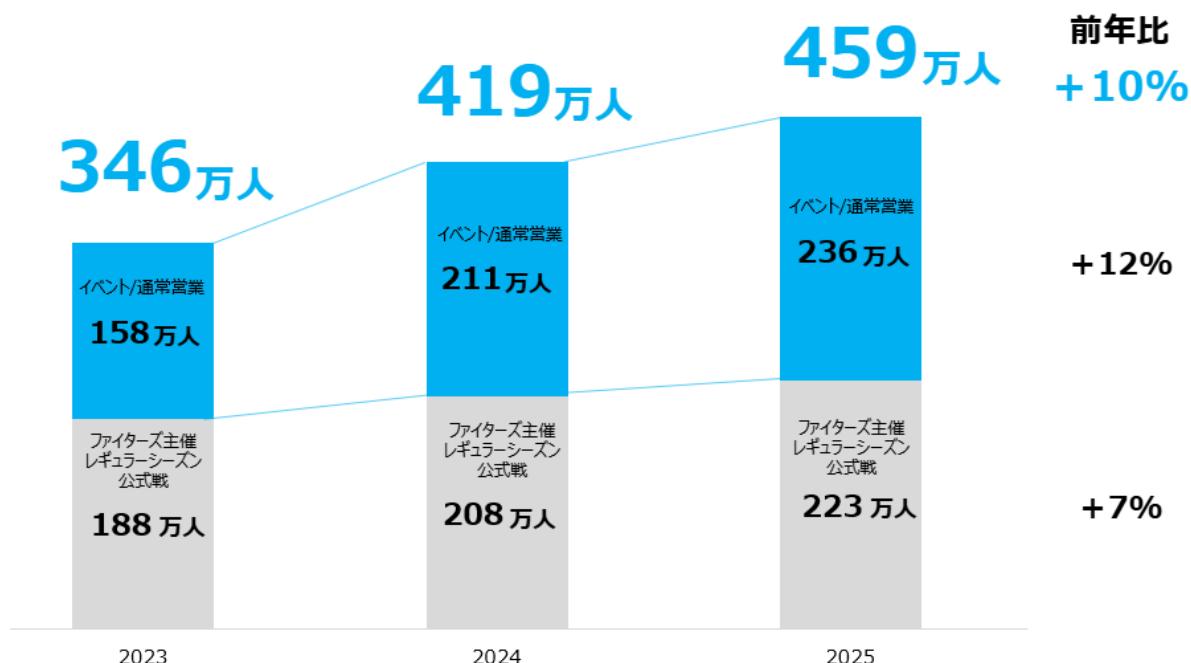
- ・ファイターズ主催レギュラーシーズン公式戦（71試合）：223万2,364人（前年比+12%）
- ・その他イベント（上記主催試合以外）：235万8,993人（前年比+7%）

レギュラーシーズン公式戦においては、2004年の北海道日本ハムファイターズ誕生以来、最多となる来場者数を記録しました。さらに、試合がない日についても、3年連続で過去最多の来場者数を更新するなど、年間を通じて多くの皆様にご来場いただきました。道内、そして道外・海外からも足をお運びいただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

# HOKKAIDO BALLPARK VILLAGE

- ・1月1日～12月31日の期間で、450万人を突破し、**約459万人(平均12,579人/日)**が来場。
- ・Fビレッジ累計来場数が2024年6月21日に500万人を突破したのに続き、開業855日目の2025年7月13日には、**1,000万人**を突破。
- ・ファイターズ主催公式戦以外には、2025年に続き、「**2025 パーソル クライマックスシリーズ パ(2試合)**」、「**日韓ドリームプレーヤーズゲーム**」の開催、「**にじホロ交流戦**」、「**ドラゴンクエストウォーク**」、「**F Village Baseball Day～ファイターズOB選抜×UUUM野球部 夏のドリームマッチ～**」などコラボイベントを初開催し、様々なエンターテイメントを楽しんでいただいた。

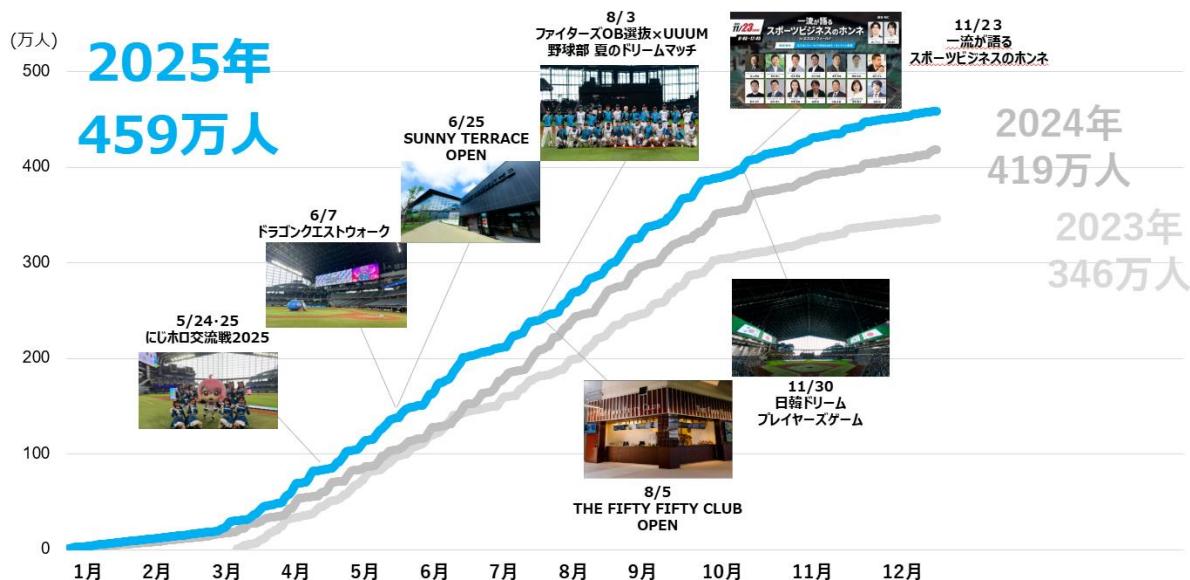
## <Fビレッジ年間来場者数>



※参考：東京都 東京スカイツリー®来場者数 約467万人、沖縄県 沖縄美ら海水族館 約344万人  
(2024年度) 出典：総合ユニコム株式会社「レジャーランド&レクパーク総覧2026」

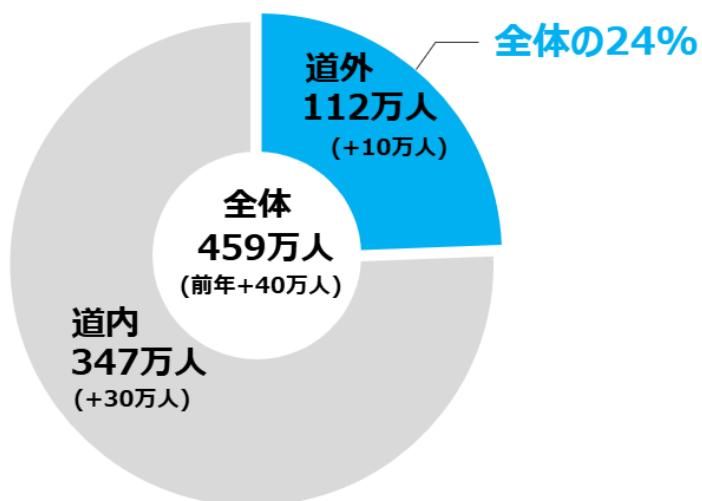
# HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

## ＜来場者数推移と主なイベント＞



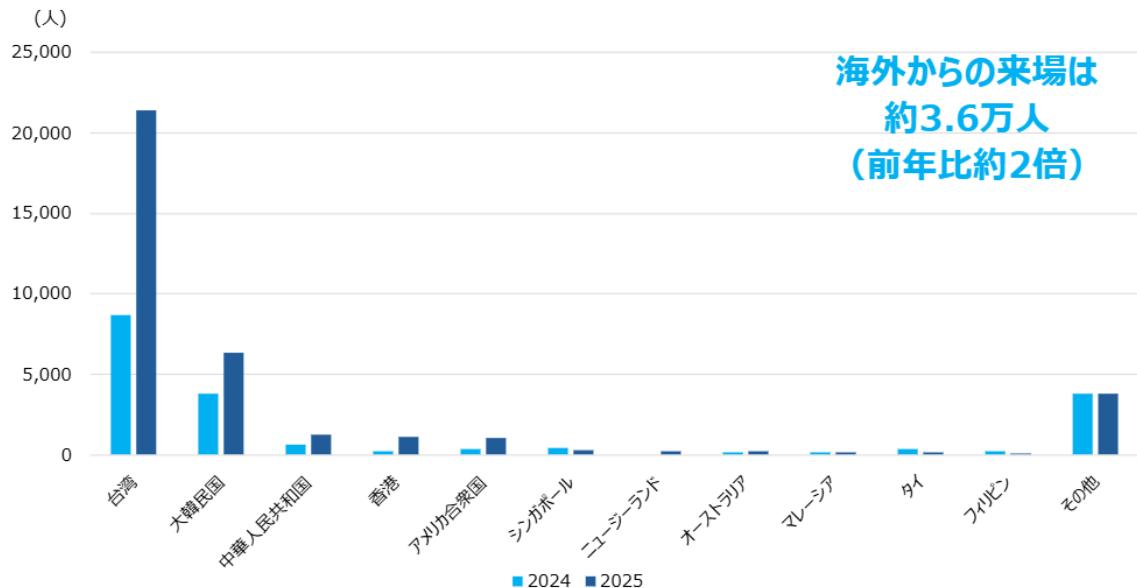
- 道外からの来場者は **112万人（全体の24%）** となり、2024年同様高い水準。
- 昨年に引き続き、海外からの来場者数は約2倍の成長を維持。中でも、最大の来場国である台湾からの来場者数は前年比248%と大幅に増加している。さらに、世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー®」において「トラベラーズチョイスアワード 2025」を受賞するなど、国際的評価も高まった。今後も海外来場者に向けた情報発信を強化していく。
- 年代別については、どの層も同水準で伸長しているが、特に50~60代の伸びが著しい。

## ＜来場者数：地域別＞

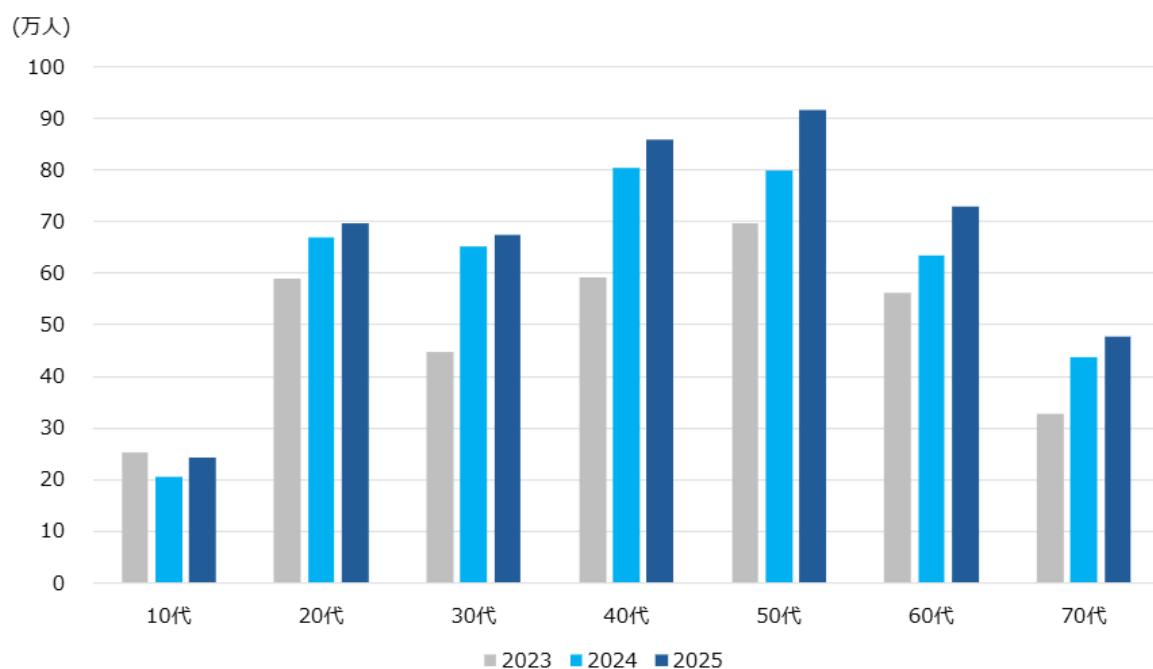


# HOKKAIDO BALLPARK **F**VILLAGE

## 〈来場者数：海外からの主な国籍別〉



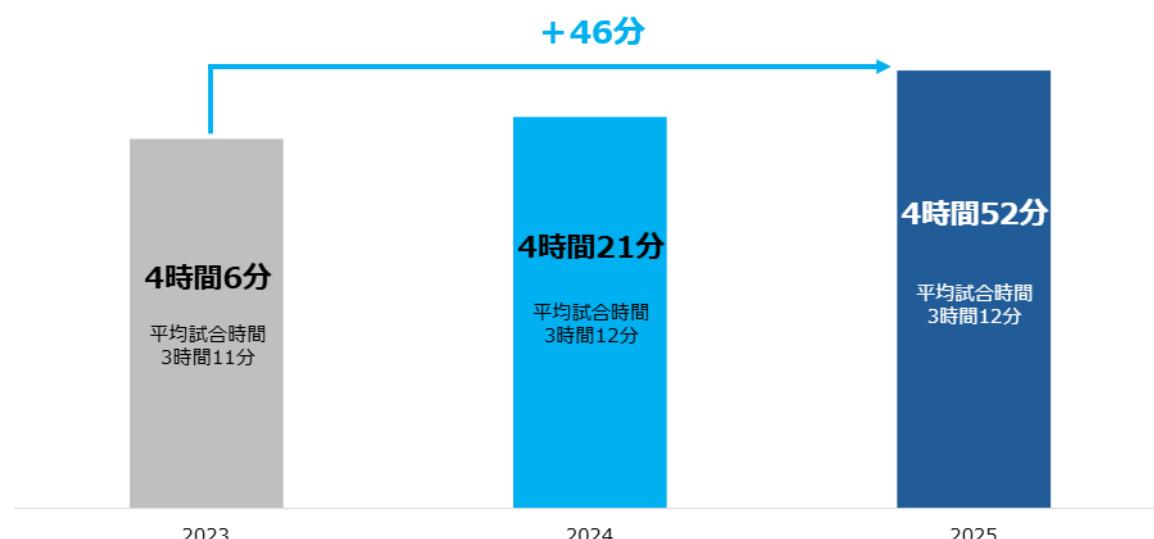
## 〈世代別の年間来場者数〉



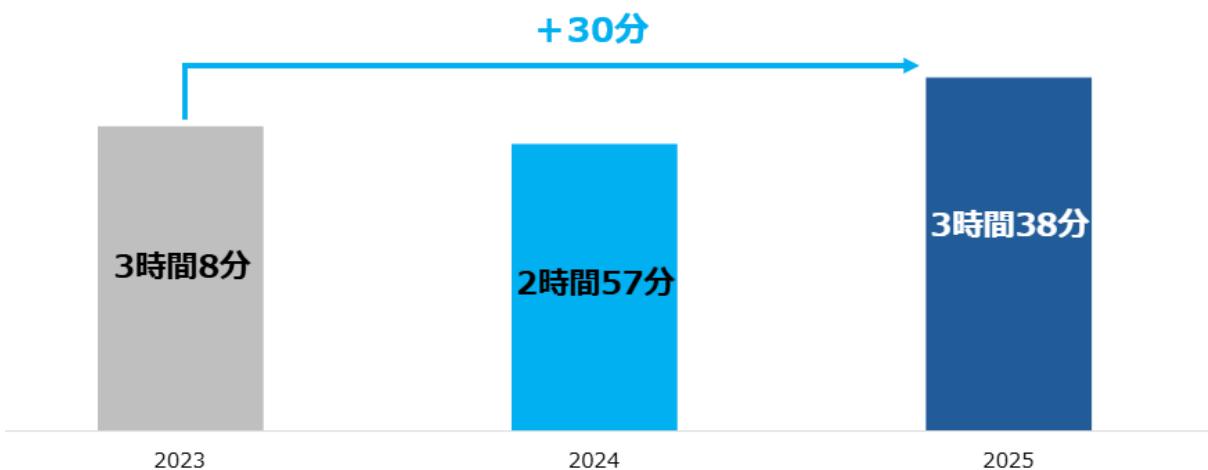
# HOKKAIDO BALLPARK **F**VILLAGE

- ・公式戦の平均試合時間が3時間12分であるのに対し、Fビレッジでの平均滞在時間は4時間52分となっており、来場者は試合前後を含めて1時間30分以上を試合以外のコンテンツに費やしていることがわかる。試合後のLIVE開催など、一日を通して楽しめるエンターテイメントの提供により、滞在時間は着実に増加傾向にある。
- ・また、試合がない日においても滞在時間は伸長しており、スタジアムツアへの参加や球場内の回遊、飲食店舗の利用などを通じて、Fビレッジが日常的に訪れたくなる場であると同時に、観光拠点としての認知が広がっていることがうかがえる。

## ＜試合がある日の平均滞在時間＞



## ＜試合がない日の平均滞在時間＞



# HOKKAIDO BALLPARK VILLAGE

## 2. 今後の展望

Fビレッジ、エスコンフィールドでは、訪れるすべての方々に、より快適で、より楽しくお過ごしいただけるエンターテイメント空間の創出を目指し、進化を続けてまいります。引き続き世界一の球場飲食を目指して、北海道ならではの飲食の新店舗の展開も予定しております。

また、野球観戦にとどまらず、日常の中で何度も足を運びたくなる「体験価値」を創出することで、幅広い世代の皆様に愛される場づくりを推進してまいります。

さらに、「バンヤン・グループ」が展開するホテルブランド「DHAWA（ダーワ）」の建設が着工し、2027年秋の開業に向けて着実にプロジェクトが進行しております。国内外からの来訪者を迎える滞在拠点として、Fビレッジの魅力を一層高める存在となることを目指してまいります。

加えて、2028年にはJR新駅の開業および北海道医療大学の移転が予定されており、Fビレッジ周辺は「訪れる場所」とともに、「暮らし、集い、交流する街」へと大きな転換期を迎えます。私たちは、地域や関係者の皆様と連携しながら、このエリアの持続的な発展を見据え、「街化」に向けて着実に歩みを進めてまいります。

※来場者数等のデータは自社の計測システムと、一部LINEヤフー社が提供するDS.INSIGHTを用いて  
掲載しております

※画像データの無断転用はご遠慮ください